

講義名	スポーツマネジメント論			授業形態	
担当教員	山口 志郎	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 3時間		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

今日、スポーツを取り巻く社会情勢は、かつてわれわれが経験したことのない速さと多様性を持ちながら、変化と発展を遂げている。これは、インターネットや携帯電話の普及、さらにはブログやSNS（Facebook、LINE、X）などの情報化社会の進展に伴い、その中で生活する人々の“個性化”と“自由化”が進行し、スポーツへの関わり方も、「する」「みる」「ささえる」などマクロな広がりを見せている。そうした中、2019年から始まった「ゴールデン・スウィッチャーズ」を契機に、スポーツマネジメントは更なる注目が予想される。本授業では、スポーツマネジメントに関する「ヒト・モノ・カネ・情報」といった経営資源をどのようにマネジメントするかを様々な事例を用い、授業を展開していく。また、スポーツマネジメント領域で求められる人材とは何か、授業を通して活発な議論を行う。

到達目標

本授業では、以下の到達目標の達成に向け進行する。
 1) スポーツマネジメントに関する基礎的な知識を習得できるようになる。
 2) スポーツマネジメントに関する「ヒト・モノ・カネ・情報」について理解を深めることができるようになる。
 3) スポーツマネジメントに関する企画・立案力を習得できるようになる。

提出課題

授業終了後に、その日の感想・質問・ポイント等を小レポート（レスポンス）として提出してもらう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の小レポート課題は、レポート評価をした後、学生にフィードバックし、レポートの書き方やクリティカルシンキングのための考え方やキーワードを個別または授業全体で解説する。

評価の基準

期末試験 50%
 平常点（毎週の小レポート） 50%

履修にあたっての注意・助言他

私語厳禁、提出物の期限厳守、書籍や資料の通読。授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合あり。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

- プリント資料は必要に応じて配布する。参考図書は以下のとおりである（購入する必要なし）。
1. 「スポーツマネジメント」（原田宗彦・小宮誠悦著・大修館書店）
 2. 「図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント」（山下秋二・中西純司・松岡宏高編著 大修館書店）
 3. よくわかるスポーツマネジメント（柳沢和雄・清水紀宏・中西純司編著）

授業計画

1. イントロダクション/スポーツマネジメントをめぐる社会的背景
 予習内容：シラバス、特に主題と概要、到達目標を事前に確認すること。また、スポーツマネジメント論に関して、自身が興味を持った内容をまとめたうえで、授業に出席すること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
2. マネジメントの使命と方法
 予習内容：マネジメントの使命と方法に関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
3. デュマンリソースマネジメント
 予習内容：デュマンリソースマネジメントに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
4. スポーツマネジメントに必要な法知識と国の施策
 予習内容：スポーツマネジメントに必要な法知識と国の施策に関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
5. スポーツ組織・リーグのマネジメント
 予習内容：スポーツ組織・リーグのマネジメントに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
6. スポーツファンリソースマネジメント
 予習内容：スポーツファンリソースマネジメントに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
7. スポーツチームのマネジメント（チーム）
 予習内容：スポーツチームのマネジメント（チーム）に関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
8. スポーツチームのマネジメント（ファン）
 予習内容：スポーツチームのマネジメント（ファン）に関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
9. スポーツマーケティング
 予習内容：スポーツマーケティングに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
10. ブランディング
 予習内容：ブランディングに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
11. グループワーク
 予習内容：グループワークの講義を踏まえ、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
12. マーケティングリサーチ
 予習内容：マーケティングリサーチに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
13. スポーツイベントと地域イノベーション
 予習内容：スポーツイベントと地域イノベーションに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
14. 海外のプロスポーツ
 予習内容：海外のプロスポーツに関して、指示された内容について情報収集をすること。（120分）
 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。また、レスポンスに本日の講義に関する内容をまとめ、提出すること。（120分）
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

< 学科共通 >
 まますま高齢化社会が進む現代社会において、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康関連産業やスポーツ関連産業で就業することができる。
 < スポーツマネジメントに関連する幅広い対象と健康分野に関連する科目である。また、健康やスポーツ関連産業の動向を理解することも含まれている。そのため、DPに貢献し得る科目である。 >
 < スポーツマネジメントコース >
 「する」「みる」「ささえる」の観点で、スポーツをキーワードとする関連専攻分野、業種において企画運営に携わることができる。
 「する」「みる」「ささえる」の観点から「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」に関連して授業が展開されており、企画運営に関連する授業が展開されている。よって、DPに貢献し得る科目である。
 健康産業やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。
 社会的背景と関連した形でスポーツマネジメント論は展開されており、DPに掲げられている分析、評価、企画も理解することができる。
 < スポーツマネジメントコース >
 地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ、マネジメント力を発揮することができる。
 到達目標を達成することで、コミュニケーション能力やマネジメント力を発揮することができるものの、フィールドワーク等の内容は含まれていない。よって、一部DPに貢献し得る科目である。
 健康保持・増進やスポーツパフォーマンス向上などのための理論や指針法を学び、それを通して身につけたプレゼンテーション能力に基づく効果的な指導ができる。
 到達目標とを達成することで、健康保持・増進の向上のための理論やプレゼンテーション能力が身につくための、スポーツパフォーマンスのための理論や指針法は含まれていないことから、一部DPに貢献し得る科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

レスポンスを活用した参加型授業やQRコードを読み取り、アンケートに答えてもらいながら、学生の理解を深める授業などを展開する。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：スポーツ関連企業やスポーツイベント、健康関連企業とのネットワークを活かし、ゲスト講義の依頼や現場実習（フィールドワーク）、担当者へのプレゼンテーション機会を創出する。

備考